

## 地域課題の解決を目指すプロジェクトが続々始動!

文京社会起業フェスタ 開催 **参加者募集!**  
 文京ミ・ラ・イ対話「解決策を深める」

文京社会起業講座レポート  
 ・公開シンポジウム  
 ・地域活動応援講座

# 文京社会起業フェスタ2014

～ es!でミ・ラ・イをつくろう! ～

**2/11** 火・祝 13:00  
 16:30

場所：文京区民センター3A・B

区民発プロジェクト&  
 アイデアの発表会  
 (プレゼンテーション&展示)

文京区の新たな公共プロジェクトの取り組みの中から生まれた、地域課題解決のプロジェクトを始めようとしている方たちと地域のみなさんが出会い、つながれる機会とするための社会起業フェスタを開催します。

当日はすでに活動を立ち上げている団体や、社会起業講座受講生が、プレゼンテーションを行います。それぞれの事業が継続・発展するにはどうしたらいいか、これからの文京区に何が必要かについて、話し合います。何か地域で活動したい方、地域課題解決の新しい方法を知りたい方、文京区での新しい事業づくりに関心ある方、ぜひご参加ください!

※発表予定のプロジェクト、アイデアは内面をご覧ください



※発表者からのメッセージの一例です



ゲスト・スピーカー 齊藤 保氏  
 株式会社イータウン(港南台タウンカフェ)代表

つながりを生み出すビジネスの実践法

～ cafe から始まるわくわくまちづくり  
 横浜市港南台で、カフェの小箱ショップを街の人の出番として、コミュニティづくりを実践した経験からアドバイスいただきます。

## 文京ミ・ラ・イ 第3セッション「解決策を深める」対話



テーマ	日時
家庭を支えるご近所力 ～家族構成の変化に対応するには～	1月19日(日) 14:00～16:30
まちの資源を活かした 地域ブランディング	1月22日(水) 18:45～21:00
スポーツから始まる コミュニティづくり	1月24日(金) 18:45～21:00
会場	シビックセンター5階区民会議室

プロジェクト実践者や講座受講生が事業の実現・推進の上での課題、実践したからこそ気づけた課題を紹介します。実践につながる対話を深めましょう!

〈プログラム〉  
 ・プロジェクト実践者等からの問題提起  
 ・実践上の課題について  
 ・課題解決の実践、普及のために何が必要か?



# 地域課題の解決を目指すプロジェクトが続々と動き出し、新しい挑戦が始まっています!

文京区の新たな公共の取り組みは、地域課題の解決を目指す担い手を創出していくことを目指しています。そのための取り組みとして、地域課題を考える対話の場を7月から、文京社会起業講座を9月から開催しています。また、実際にプロジェクトとして動き出したものを、「プロジェクト登録及び事業構築支援」の制度でサポートしています。(プロジェクト支援の詳細は特設サイト [bunkyo-sip.jp](http://bunkyo-sip.jp) に掲載しています)  
2013年4月からの取り組みで、対話の場に加え235名、地域活動応援講座に88名に参加いただきました。そして、新たな地域課題解決プロジェクトの登録プロジェクトが10件、プロジェクトの立ち上げ準備を行う社会起業アクション・ラーニング講座では18件の事業アイデアが生まれてきています。

## ～プロジェクト支援の取り組み紹介～

### 「地域ブランド文人郷構築による地域連携事業」(以下「文人郷プロジェクト」)

社会起業家育成の専門家等で開催する、「担い手創出プロジェクト支援本部」による選考を経て、2013年8～11月期のプロジェクト支援の対象事業として、NPO法人街ing本郷による「文人郷プロジェクト」を選定しました。  
本郷を始め、文京区は数多くの文人が暮らし、作品にも登場してくる地域です。文人やまちの歴史を活かして、地域住民の方が暮らし地域の価値を再発見したり、新しい取り組みを始められるよう応援する。さらに、文人でつながりのある地方都市と文京区の交流も進めていこう。このような取り組みが「文人郷プロジェクト」です。  
選考会では、地域にあるもったいない資源を地域に暮らす人たちが活かす取り組みに評価があった一方、事業モデルやコンセプトに対する指摘も行われました。支援期間中は、これらを踏まえ、以下の取り組みを行いました。

●キックオフ・ミーティング  
実施団体と事務局で期間の目標、具体的ゴールを設定について話し合いました。文人郷の地域住民にとっての価値の明確化や、事業の基盤としての会員制度の構築を中心に議論しました。

●メンターミーティング  
地域事業づくりの専門家、広告代理店の方にご参加いただき、事業へのアドバイスを行いました。文人という過去のイメージがあるが、それが現代社会で暮らす地域の方にどんな意義があるかを考えること、事業を広げるには仲間づくりが大切なことなどのアドバイスが行われ、事業の方向性が明確にされていきました。

●ステークホルダーミーティング「文人郷会議」  
文人郷に地域の方は何を期待しているかを共に考えるため、ステークホルダー(事業関係者)の集まる会議を、10月26日に本郷の文人ゆかりの銭湯菊水湯と、上真砂町会館で、地域の皆様ご参加いただき開催しました。そこでわかったのは、まちの歴史や文人をキーワードに自分の活動をやってみたい人が多数いますが、新しいことをしたくても、地域との接点づくりに苦労されていることでした。そこを応援することにより新しい活動が生まれ、地域の方が参加しやすい仕組みをつくることで、会員制度の意義になるのではないかと考えています。文人郷の活動に協力したい仲間もでき、11月24日には参加型の企画会議「文人郷カフェ」も始めました。

現在、文人郷プロジェクトは、新しい活動を始めた人を軸にした会員制度や地域連携の事業構築に取り組んでいます。  
興味をお持ちの方、ぜひ文人郷カフェに参加してみてください。

文人郷支援の内容は特設サイトに掲載しています。  
[bunkyo-sip.jp](http://bunkyo-sip.jp)

文人郷の最新情報はホームページをご覧ください。  
[bunjinkyu.com](http://bunjinkyu.com)



文人郷プロジェクトに取り組む街ing本郷の長谷川大さん、杉本和哉さん



文人郷会議(10/26)には、地域の方、学生さん、森岡外仲りの島根県津和野町の方も参加されました。

## 2013年12月～14年3月の支援プロジェクトが決まりました。

12月9日開催の担い手創出プロジェクト支援本部による選考の結果、2013年12月～3月期の支援プロジェクトを決定しました。

- NEW ハッピーファミリープロジェクト (子育てkitchen)
- NEW 文京映画交流クラブ (文京映画交流クラブ立ち上げチーム)
- CONTINUE 文人郷プロジェクト (NPO法人街ing本郷)

## —登録プロジェクトの紹介—

今年度のプロジェクト登録は、7月、10月の2回募集し、下記のプロジェクトが登録されました。それぞれ新しい発想で、地域の中で動き始めています。各プロジェクトの概要、実施団体からのメッセージを、特設サイトに掲載していますので、ぜひご覧ください。(特設サイト、トップページの「登録プロジェクト紹介」からご覧いただけます)

### -2013年7月期登録-

●文人郷プロジェクト (NPO法人街ing本郷)  
(左頁支援レポートに詳細掲載)

●ご近所やさい (ご近所やさい)

都市の住宅街に野菜の「直売所」を設け、消費者と生産者を直接つなぎます。

●文京区アスリート大会 (NPO法人小石川)

子どもから大人までが共に陸上競技を楽しむ地域のアスリート大会を、地域の方々や大学と連携して企画・運営します。  
(※7月期登録の子育てkitchen、社会的就労プロジェクトは、10月期に内容を改訂して再登録されました。)



### -2013年10月期登録-

●コミュニティ就労文京プロジェクト (コミュニティ就労文京プロジェクト実施チーム)

社会的排除に遭い、孤立している人々が、自分らしく継続的な社会参加ができるようなコミュニティ就労の仕組みをつくります。

●地域密着型介護：保育プロジェクト ((株)ツリノ・アンド・ツリノ)

地域住民の方々を借りて、介護事業や学童保育事業を展開するサービスを提供します。

●ハッピーファミリープロジェクト (子育てkitchen)

幼児期でも、親子で一緒に料理を楽しむ『台所育児』を提案し、親子のコミュニケーションを促し、見守る子育てを推進します。

●武蔵(スポーツ)によるコミュニティ作り (TEAM空)

空手を通して地域のコミュニティを作り、地域の交流を深めます

●文の京圏交流サロンプロジェクト (文京区囲碁指導者連絡会)

「文の京圏交流サロン」を通じて、世代間交流の地域コミュニティづくりを通して、子育てママの育児も支援します。

●文京映画交流クラブ (文京映画交流クラブ立ち上げチーム)

地域での映画の上映とその後の対話の会によって、引きこもりがちなお年寄りなどが地域の人とつながれる仕組みをつくります。

●街の和文化的心・遺故知新プロジェクト (keepkimono-life文京)

華やかに活気に満ちた人間交流のある街を和文化的の伝承活動やイベントを通してつくります。



## 社会起業アクション・ラーニング講座の受講生のプロジェクトテーマ

10月から社会起業アクション・ラーニング講座を開催し、18名の受講生が自分の思いをアクションへとつなげ、事業化を具体化していくプロセスに挑戦しています。受講生が挑戦しているプロジェクトのテーマを下記に挙げました。どのテーマも身近な地域課題からアイデアが生まれています。

### 子育て支援

- ・子育ての悩みを共有し、相談できる同窓コミュニティ運営ツール
- ・「兼業主婦」で、子育てママがイキイキと社会参加!
- ・ママの運営する子ども囲碁クラブで、子育て支援

### 地域・家庭の教育力

- ・子どもたちが自ら事業をつくる!世界一愉快でためになる放課後ライフ!!
- ・社会見学～子どもたちが会社の魅力を体験し、社会に伝えます!
- ・まちを子どもの放牧地に!～街のLDKをつくろう
- ・降け!あなたのセカンドキャリアは目の前の介護・学童保育にあります

### まちづくり

- ・思い出ラボ～高齢者の所蔵写真の収集を通じた人と街の記録の蓄積
- ・文京区の施設のリノベーション再生
- ・いきぬきラボ～大災害を生き抜く力と息抜く居場所・縁つむぎ
- ・HOLISTIC HEALTH～自然と調和して健康やかに生きる～



◎講座の様子より

### つながりづくり

- ・社会的課題に気づくボランティアを～元気まつりプロジェクト
- ・対話をエンターテイメントに～地域活動への参加促進のために
- ・文京かるたでつながろう～文京区の郷土かるたの製作及び普及による地縁づくり
- ・シェアすることでつながるコミュニティの場づくり

### 人の力を応援

- ・人の魅力を引き出す地域コーディネーターの育成
- ・社会的排除に遭い孤立無援の人々の社会的な就労場所と出番づくり
- ・定年男子の地方復興応援プロジェクト!



## プロジェクト登録、受講生のみなさんは、仲間を募集しています!

登録プロジェクト、社会起業アクション・ラーニング講座の取り組みは、新しい地域課題解決の方法を、自ら実践しようと動き始めた方たちのチャレンジです。  
それぞれの活動は事業段階から構想段階まで様々なものがありますが、どの活動も実践者自身が自分の問題意識から解決策を考え、課題解決の当事者として実現への方法を試行錯誤しているものばかりです。

これらのプロジェクトを、地域の中で実現していくためには、より多くの区民の方々や出会い、共に語り合い、協力いただき、一緒につくることが不可欠です。  
これからの文京に何が 필요한のか? 私たちに何ができるのか? 活動実践者の方の発表を聞き、一緒に考えませんか?

1月の対話、2月のフェスタで会ってみませんか?



## ● 文京社会起業講座を開催しています! ●

地域の課題解決のために新しい活動を始めたい人が、その実践手法を学び、第一歩を踏み出すきっかけとしていただくために、文京社会起業講座を9月から開催しています。

文京区×東京大学  
産学連携本部  
ソーシャルイノベーション公開シンポジウム

### 「社会の変化は、新しい仕事を求めている!」(9月13日開催)

「地域で起業するには、どうしたらいいのだろう?」

そのような疑問に応えるために、地域コミュニティに注目して起業している起業家の方と、イノベーション研究と起業支援の専門の東京大学の先生方にご登壇いただき、公開シンポジウム「社会の変化は、新しい仕事を求めている」を9月13日に、東京大学福武ホールで、120名を超える参加者を得て開催しました。

第1部では、ゲストに、影山知明さん(クルミドコーヒー店主)、ナカムラケンタさん(日本仕事百貨代表)をお招きし、各務茂夫教授(東京大学産学連携本部)と共に、新しい仕事をつくる方法を話し合いました。

影山さんは、ベンチャーキャピタリストでありながら西国分寺でのカフェやコレクティブハウスの運営に取り組んでいます。大きな目的のために日々の営みを手段化せず、目の前のことや日々のルーチンのワークを大切にすることで、事業を発展させるヒントがあると実感されています。ナカムラケンタさんは、仕事の現場の魅力を伝える求人サイト「日本仕事百貨」の立ち上げな



どユニークな様々な事業を立ち上げています。実は各事業には元ネタがあり、全くのオリジナルでなくても、面白いと思った他事業や事例を分析していく中で、新しい事業のヒントがわかるそうです。各務先生は、社会の変化の中で仕事も変化する。自分を更新することがイノベーションを生むと話されました。



第2部は、東京大学の菅原 岳人先生(東京大学産学連携本部助教)がナビゲーターとなり、NPO 法人街 ing 本郷の長谷川大さん、LAB-CAFÉの杉本雅明さんに参加いただき、2011.2012年度の東京大学と文京区の社会起業家育成アクションラーニング・プログラムの取り組みから生まれた活動や新しい地域づくりに必要なことを話し合いました。「新しい出会いが新しいアイデアを生む」「まずは、やってみることから」という元気なメッセージが伝えられました。それぞれのゲストのお話は、これから何かを始めたいと思っている人に、勇気を与えるメッセージとなりました。参加者からは「自分もやってみたくなった」という声もあがっていました。特設サイトのレポートも、ご覧ください。

#### 地域活動応援講座

### 「ファシリテーション講座」(9月26日開催) 「参加者が満足し、継続するプロジェクト運営のコツ」 (10月10日開催)

「地域で起業するには、どうしたらいいのだろう?」

地域活動に役立つノウハウを学ぶ地域活動応援講座は、(株)エンパブリックの広石代表が講師を務め、両講座共に定員を超える参加者を得て開催しました。

ファシリテーション講座では、対話などで参加を促しながら進行を務めるファシリテーターの考え方やノウハウを学びました。地域活動の基盤となる地域のつながりをつくるには、人々を守り立てるファシリテーターが必要です。講義では、受講生が対話のファシリテーターを実際に体験しながら進め方のポイントを学びました。



また、「運営のコツ」講座では、地域活動を進めていく上で、課題となるメンバーの温度差、意欲の継続、参加度合のばらつきなどに、どう取り組むか学びました。一人ひとりが違うことは当然だと受け入れること、それぞれの参加者の番と居場所をつくること、価値観や考えが違うからこそルールをつくることなどがポイントです。実践的な運営のコツの講義を受け、地域活動を実践する参加者から「役立った」という声がありました。

## 職員研修でも社会起業の事業づくりを体験!

文京区の新たな公共プロジェクトでは、区民向けの講座や対話だけでなく、区職員向けに協働研修も行っています。その中で、係長級の職員を対象に、社会起業の事業づくりを学ぶ研修を実施しました。区と民間事業者の協働を進めるには、区職員も事業者の考え方や視点を知っている必要があります。職員が実際に事業づくりを体験することで、実際に協働事業を行う際の相互理解が深まることが期待できます。研修では、現場と常に接している職員ならではの発想で、地域課題を踏まえた事業案が生まれ出されました。このような研修を通じて、職員が一区民としての当事者意識を持ち、協働相手とともに地域課題の解決に挑戦できる組織・風土改革に取り組んでいます。

<講座から生まれた事業アイデアの例>

- 母親が体調不良の時の保育園の送り迎えをサポートする会員サービス
- 地域に暮らす外国人が先輩の外国人居住者と出会い、生活サポートを得るためのカフェ
- 中学生に「本」の楽しさを、日替わりコンシェルジュが伝える「ブックサロン」



#### 詳細・申込みは特設サイトから

「文京ソーシャルイノベーション・プラットホーム」

[bunkyo-sip.jp](http://bunkyo-sip.jp)

Facebook、twitter、メールマガジンにも情報を掲載しています

重点テーマ関連情報、対話の場や講座の参加者募集、活動レポート、地域での取り組みなどを掲載していきます。